



広い空 未来につなぐ えがおの南山幼稚園

港区立南山幼稚園

Minato City, Nanzan Kindergarten

令和8年 1月29日

January 29, 2026

園長 河合 晴美

Principal

Harumi Kawai

教育目標

- げんきな子
- よくかんがえる子
- なかよくする子

2月園だより



一人ひとりのよさ、集団のよさ

園長 河合 晴美

1月下旬は、厳しい寒さとなりましたが、子どもたちは、園庭のビオトープに氷が張ることや霜柱が立つことなど、冬の自然を見付けることができました。5歳児さくら組が幼稚園を巣立つ修了式までのカウントダウンをはじめ、2月1日には、「(修了式まで)あと30日」となります。

幼稚園ではこの時期に、幼児が自分の力を出して繰り返し取り組む遊びができるようにしています。

3歳児りんご組では、手回して回ったコマに、いろいろな色や形の紙を乗せ、その変化を楽しみながら、コマが長く回るように繰り返しています。タイミングを見計らって乗せ「こんなになった!」「いっぱいになった!」など出来たことを喜ぶ声がたくさん上がっています。また、屋上での鬼遊びでは、合図とともに逃げることを楽しむことでは、以前より勢いよく大きな動きで走る姿に成長を感じます。

4歳児ばら組では、新しく3人の新入園児を迎える中、3人をリードするように他の幼児が動いています。動きと雰囲気楽しいことが分かってと真似したり、取り入れたりしていき、輪の中に入っていく姿、受け入れていく様子に、ほほえましい子どもながらの関わりが見られます。

5歳児さくら組は、コマやけん玉、あやとりや竹馬など、それぞれが興味をもったことを繰り返し取り組んでいます。そして、できたときのやり方を振り返り、自分なりにコツをつかんでいこうとし「もう1回、もう1回」と繰り返す姿が見られます。また、ドッジボールでは、声を上げながらボールから逃げていた姿からボールを取りに行き、投げる、投げて当てようとする姿になってきました。

3学期に入り、それぞれの学年で同じときを過ごしてきた仲間が、それぞれ大切な友達として認め合う関係づくりができるよう、園全体で子どもたちの様子を捉え、支えています。自分の思いとは異なる友達、自分と同じ思いをもつ友達がいて、一緒に生活する中で怒ったり、笑ったりしながら楽しく心地よい生活になることを目指してきました。一人ひとりのよさを取り上げ、互いにこれらを知り、受け入れ合うことで尊重する、みんなという集団だから違い(多様性)がよさとなり相乗効果になるということなど、共鳴し、共感し合う毎日の積み重ねでかけがえのない日々がつけられています。学校評価でいただいたご意見や日頃声をかけていただいたことに感謝し、3学期の残りの日々を笑顔いっぱいでも過ごしていきたいと思っています。



<りんご組の鬼遊び>



<ばら組の音楽会の取組>



<さくら組のドッジボール>